GX-L / GF-L シリーズ / GX-L-K シリーズ

重量級電子天びん/検定付き重量級電子天びん

クイックスタートガイド

(本体同梱用)

GX-L シリーズ (分銅内蔵タイプ)

GX-12001L / GX-22001L / GX-32001L / GX-32001LD / GX-42001L / GX-62001L GX-62000L / GX-102000L

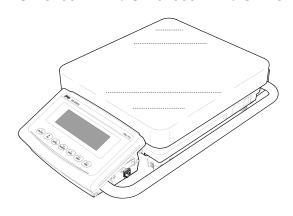
GX-32001LS / GX-32001LDS / GX-62001LS / GX-62000LS / GX-102000LS

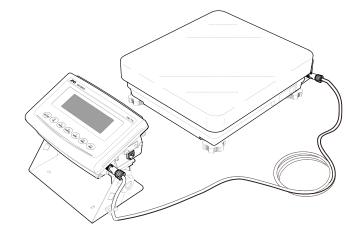
GF-L シリーズ (ベーシックタイプ)

GF-12001L / GF-22001L / GF-32001L / GF-62000L

GX-L-K シリーズ (検定付き・分銅内蔵タイプ)

GX-12001L-K / GX-22001L-K / GX-32001L-K / GX-32001LD-K / GX-62000L-K / GX-102000L-K GX-32001LS-K / GX-62000LS-K / GX-102000LS-K





別冊の取扱説明書はこちらからご覧ください



AD 株式 エー・アンド・デイ

注意事項の表記方法

▲ 注意 この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

注意 正しく使用するための注意点の記述です。

アドバイス 「取り扱いを誤りやすい場合」や「本機を使用するときの一般的なアドバイス」について記述します。

注意

- (1) この取扱説明書(以下、本書)の一部またはすべてを、株式会社エー・アンド・デイ(以下、弊社)の書面による事前の許可なく、転載・複製・改変・他言語への翻訳を行うことを禁止します。本書の内容は、将来予告なく変更することがあります
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 弊社では、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益、および、本製品の欠陥または本書の不備により 発生する直接、間接、特別または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があると告知 された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負い ません。同時に、ソフトウェアやデータの損失の責任を一切負いません。

© 2023 株式会社 エー・アンド・デイ

目次

1.	クイックスタートガイドについて	4
1-1.	別冊の詳細説明書	4
2.	組立・設置	4
2-1.	計量前の注意(設置条件と計量準備)	7
3.	表示とキーの基本操作(基本動作)	9
4.	感度調整	11
4-1.	自動感度調整(GX-L / GX-L-K シリーズ)	11
4-2.	内蔵分銅による感度調整(GX-L / GX-L-K シリーズ)	11
4-3.	お手持ちの分銅による感度調整 (GX-L / GF-L シリーズ)	12
5.	エラー表示(エラーコード)	
6.	その他の表示	15
7.	仕様	
7-1.	GX-L / GF-L シリーズ	16
7-2.	GX-L-K シリーズ	17

1. クイックスタートガイドについて

このたびは、エー・アンド・デイの重量級電子天びん **GX-L / GF-L** シリーズ、検定付き重量級電子天びん **GX-L-K** シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。本書は電子天びんの設置方法と基本的な機能や操作を記載した説明書です。

より詳細な内容につきましては「1-1. 別冊の詳細説明書」に記載されているマニュアルを参照してください。

1-1. 別冊の詳細説明書

天びんの機能や操作手順は本書以外でも、別冊にて詳しく説明しています。

以下のマニュアルは弊社ホームページ https://www.aandd.co.jp からダウンロードできますので参照してください。



取扱説明書はこちらからご覧ください。

【GX-L / GF-L シリーズ 取扱説明書】

□ 重量級電子天びん GX-L / GF-L シリーズを理解し、十分に活用していただくための取扱説明書です。

【GX-L-Kシリーズ 取扱説明書】

- □ **GX-L-K** シリーズは「取引・証明」の計量に使える基準適合証印又は検定証印付き電子天びんです。 「取引」や「証明」に使用する天びんは、**2**年毎に計量法に基づく定期検査を受ける必要があります。 定期検査については、各都道府県計量検定所までお問い合わせください。
- □ 検定付き重量級電子天びん GX-L-K シリーズを理解し、十分に活用していただくための取扱説明書です。

2. 組立・設置

本製品は精密機器ですので、開梱時の取り扱いにはご注意ください。

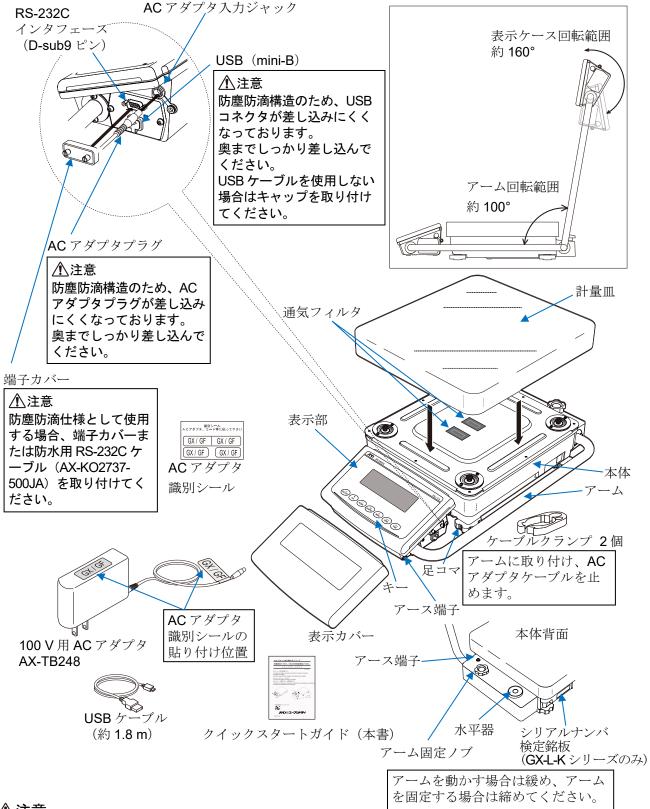
梱包内容は天びんの機種により異なります。次ページの図を参照してすべてのものが含まれていることを確認してください。

なお、梱包箱等は修理時の輸送等に必要となりますので、保管されることをお勧めします。

(1) スイングアーム型

 $\begin{array}{l} {\rm GX-12001L\,/\,GX-22001L\,/\,GX-32001L\,/\,GX-32001L\,/\,GX-42001L\,/\,GX-62001L\,/\,GX-62000L\,/\,GX-102000L\,/\,G$

GX-12001L-K / GX-22001L-K / GX-32001L-K / GX-32001LD-K / GX-62000L-K / GX-102000L-K

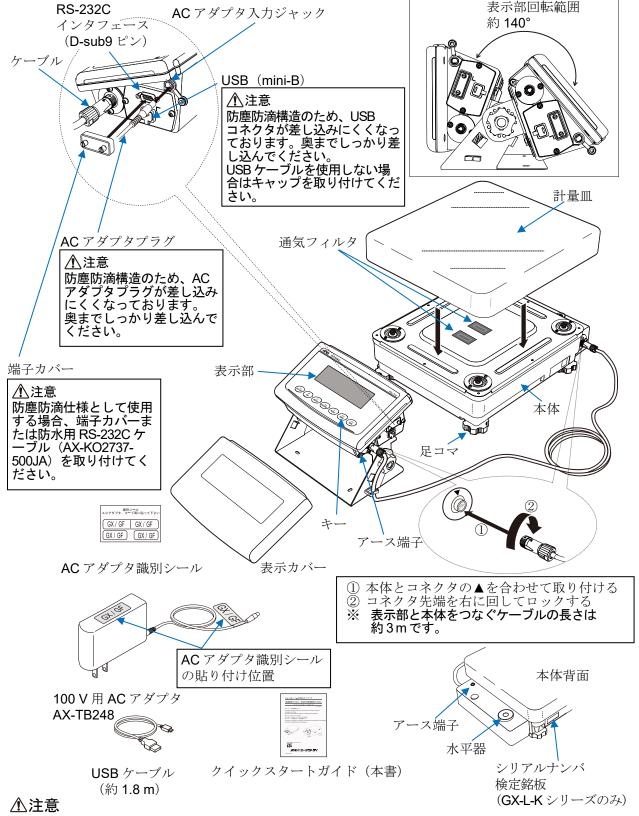


⚠注意

- □ 天びんは指定された専用 AC アダプタを使用してください。
- □ 付属のACアダプタは他の機器には接続しないでください。
- □ 使用する AC アダプタを間違えると、天びん及びその他の機器が正しく動作しない可能性があります。

(2) 表示部分離型

GX-32001LS / GX-32001LDS / GX-62001LS / GX-62000LS / GX-102000LS GX-32001LS-K / GX-62000LS-K / GX-102000LS-K

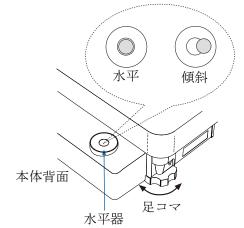


- △□ 天びんは指定された専用 AC アダプタを使用してください。
- □ 付属のACアダプタは他の機器には接続しないでください。
- □ 使用する AC アダプタを間違えると、天びん及びその他の機器が正しく動作しない可能性があります。
- □ 天びんが複数台ある場合、天びん本体と表示部のシリアルナンバが同じであることを確認してケーブルを接続してください。異なるシリアルナンバの天びん本体と表示部を接続した場合は正しく動作しません。

2-1. 計量前の注意(設置条件と計量準備)

電子天びんの性能を十分に引き出すために、下記の設置条件を整えてください。

- □ 本製品は、最高分解能 60 万分の 1 の高精度天びんです。設置場所の温度変化、圧力変動、振動、風などの影響を受けやすい傾向があります。特に内蔵分銅による感度調整時には、天びんの最小表示より一桁小さい計量値の読み取りを行いますので、上記の誤差要因に注意して安定した環境で計量作業を行ってください。
- □ 理想的な設置条件は、20°C ± 2°C、湿度 45 ~ 60%RH の安定した環境です。
- □ 塵埃の少ない部屋に設置してください。
- □ 堅牢で平らな床面に設置してください。(軟らかい床には設置しないでください。)
- □ 天びん台を使用する場合は堅固なものを使用してください。 (防振台、石盤が理想です)
- □ 設置場所に傾きがないか確認してください。
- □ 振動を避けてください。振動は部屋の中央よりもすみのほうが、また建物の2階、3階よりも1階のほうが振動は小さく、計量に適しています。
- □ エアコン等の風が当たる場所に天びんを設置しないでください。
- □ 直射日光のあたらない場所に設置してください。
- □ 磁気を帯びた機器の近くに天びんを置かないでください。
- □ 足コマを回して水平器の気泡が黒い円の中央に位置するように してください。
- □ 使用前には必ず30分以上通電してください。 (ACアダプタを電源に接続した状態)
- □ 天びんを初めて使用する場合や使用する場所を変えた場合は天びんを室温になじませるために 12 時間以上、できれば通電状態で放置し、その後感度調整を行ってから使用してください。詳しくは別冊の取扱説明書「感度調整/キャリブレーションテスト」を参照してください。



- □ 天びんの防塵・防滴レベルは JIS 保護等級 IP65 相当であり、その第二特性数字の 5 は「水の直接噴流による影響を受けない」に該当します。強い水圧での洗浄、計量皿を外した状態での洗浄、水中への水没等は、天びん内部に水が浸入し故障の原因になります。
- □ 天びんを防塵・防滴仕様の環境に設置して使用する場合は、「計量皿が取り付けられていること」、「表示部分離型の場合は本体と表示部を繋ぐケーブルが取り付けられていること」、「AC アダプタ 入力ジャックに AC アダプタのプラグが奥までしっかり差し込まれていること」、「RS-232C インタフェースに端子カバーが装着されていること、または防水 RS-232C ケーブルが取り付けられていること」、「USB 防水カバーのキャップが取り付けられていること、または USB コネクタがしっかり 差し込まれていること」を確認してください。
- □ 計量皿、RS-232C 用端子カバーを外したり、防水 RS-232C ケーブルを使用しない場合は、防塵・防 滴仕様になりません。
- □ 計量部を動かすことによる誤差

本製品は、移動しない状態にて性能を保証しております。天びんを移動させるようなシステムに組み込む場合は、以下にも注意して事前チェックを十分に行ってください。

- ・ 天びんを動かした場合、衝撃により破損する場合があります。また、動かした直後は、計量値が 安定しません。急激な移動・停止・衝撃は避けて、計量データ取得にあたっては、計量値が安定 するまでの十分な待ち時間を設けてください。
- ・ 移動装置は天びんの水平が維持できる構造としてください。水平がずれた場合は、ゼロ点や感度 のずれが生じますので、リゼロ操作や感度調整を実施してください。
- ・ 振動の影響を避けるため、移動用の台は、可動部の遊びを少なくするなど、振動を受けにくい構造としてください。

⚠注意 腐食性ガス、引火性ガスが漂うところに設置しないでください。

水平の合わせ方

(例) 気泡が水平器の左上にある場合の手順

(○) 水平器の円

○ 気泡

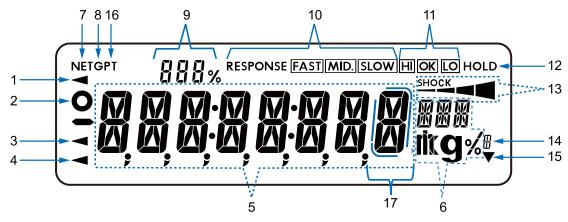
水平器	手順	足コマの調整方法
天びん本体の左側が 高く傾いています。	 左右の傾斜の調整 足コマを回して高さを調整します。 (この例では右図のように右側を高くします。) 	本体背面 水平器 足コマー 右側を高くする。 (矢印の方向に足コマを回す)
天びん本体の背面が 高く傾いています。	② 前後の傾斜の調整足コマを回して高さを調整します。(この例では右図のように前面を高くします。)	本体背面 水平器 足コマー・ 前面を高くする。 (矢印の方向に足コマを回す)
天びんは水平です。	③ 足コマの確認 四方の足コマが床面から浮いていないか確認します。 床面から浮いている場合 は、足コマを回して接地させます。 水平器の円から気泡がずれないよう注意してください。	本体背面 足コマが床面から浮いている 場合は接地させる。 (矢印の方向に足コマを回す) 下びんを設置する床面

アドバイス

- □ 気泡の位置が水平器の円から大きくずれている場合、 Lile と表示されます。この場合は天びんが傾いている可能性がありますので、水平器の円の中に気泡が入るように調整してください。または、 ON:OFF キー以外のキーを押すことで Lile 表示を解除することができます。ただし、キーによる解除するとその後は Lile が表示されません。 Lile を表示させたい場合は、AC アダプタを抜き差しして電源を切ってください。
- □ 感度調整をすることで現在の設置状態を水平の基準と記憶します。感度調整は「4. 感度調整」を参照してください。

3. 表示とキーの基本操作(基本動作)

点灯表示



点滅表示



No.	名称
1	処理中マーク
	計量値の安定マーク
	USB 接続マーク
4	点灯時:電源のスタンバイ・インジケータ 点滅時:自動感度調整の予告
5	計量値や記憶したデータ、設定項目名を表示
6	単位表示
7	ネットマーク
8	グロスマーク
9	統計データ数(統計演算機能) データメモリナンバ 荷重とひょう量の関係を%表示(ひょう量インジケータ) 内部設定の設定値表示
10	応答特性の設定状態(計量スタート後、約30秒点灯)
11	コンパレータ表示
12	表示固定マーク
	ISD ショックインジケータ
14	グロスゼロマーク
15	点灯時:インターバル出力スタンバイ 点滅時:インターバル出力稼働中
	プリセットテアマーク(GX-L/GF-Lシリーズのみ)
17	補助表示枠(GX-L-K シリーズのみ)

キー操作

キーを「押してすぐ離した場合」と「長押し(約2秒間)した 場合」とでは、天びんの動作が異なります。通常の計量操作で は、キーを「押してすぐ離す」です。必要がない限り、キーを長 押し(約2秒間)しないでください。





押す (押して離す)

(約2秒間)

代表的な計量時の操作

+-	キーを押した場合(押してすぐ離す)	キーを長押し(約2秒間)した場合	
N:OFF	表示をオン、オフするキーです。表示をオフすると、スタンバイ・インジケータのみ表示します。 ON:OFF キーはいつでも有効で、操作中にON:OFF キーを押せば必ず表示オフになります。		
CAL	内蔵分銅による感度調整を開始します。 (GX-L / GX-L-K シリーズ)	お手持ちの分銅による感度調整を開始します。(GX-L/GF-L シリーズ)	
MODE	内部設定で登録した単位を切り替えます。	自己点検機能のモードに入ります。 別冊の取扱説明書の「自己点検機能 / ECLによる最小計量値(参考値)の自動 設定」を参照してください。	
1/10d SAMPLE	計量表示にて押すと、最小表示の桁をオン <i>I</i> オフします。 個数・パーセント表示にて押すと、登録モードに入ります。	内部設定のメニューを表示します。 別冊の取扱説明書の「 内部設定 」を参照 してください。	
PRINT	計量値を出力します。		
→0← ZERO	表示をゼロにします。 別冊の取扱説明書の「 基本的な計 量」の「 ゼロ 」	占設守 同垈引き 計号銃団について ***	
→T← TARE	が開め取扱説所書の「 基本的な計 重」の「 です 」 参照してください。	灬政Æ、瓜茲可∈、□里戦四に フレ・ €」を	

注意

内部設定を変更するとキーの動作が変更される場合があります。詳しくは別冊の取扱説明書を参照して ください。

4. 感度調整

4-1. 自動感度調整 (GX-L/GX-L-K シリーズ)

GX-L シリーズは、使用環境の温度変化、または設定時間、インターバル時間により自動的に内蔵分銅を使って天びん感度を調整します。詳細は別冊の取扱説明書の「自動感度調整」を参照してください。

注意

GX-L-K シリーズは内蔵分銅による自動感度調整を禁止にすることはできません。

4-2. 内蔵分銅による感度調整 (GX-L/GX-L-K シリーズ)

内蔵分銅を使ってワンタッチで感度調整します。

- ① 計量皿に何も載せずに30分以上通電してください。
- ② **CAL** キーを押すと **[AL IN** を表示します。
- ③ 内蔵分銅を使って自動的に感度調整します。振動などを加えないでください。
- ④ 感度調整後、GLP出力を設定している場合、「感度調整記録」を出力します。
- ⑤ 終了すると自動的に計量表示に戻ります。

⚠注意

TALKOKOK "

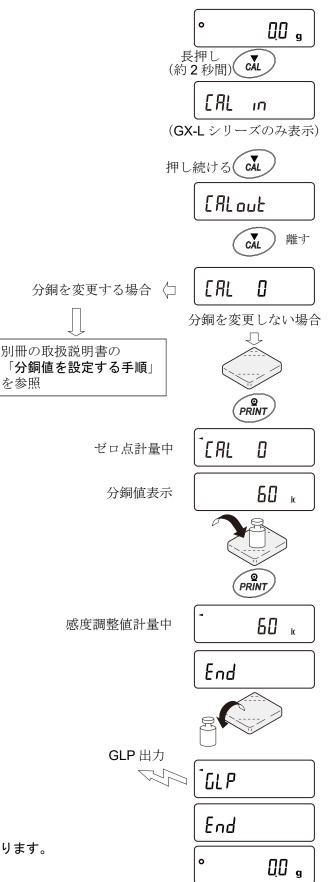
「天びんが感度調整のデータを取り込んでいる状態」です。 表示しているときは振動や風などを天びんに与えないようにしてください。 終了すると、自動的にもとの表示に戻ります。

4-3. お手持ちの分銅による感度調整 (GX-L/GF-Lシリーズ)

お手持ちの分銅を使って感度調整します。

- ① 計量皿に何も載せずに 30 分以上通電してください。
- ② **CAL** キーを長押し(約2秒間) します。
- ③ そのまま [AL out が表示されるまで押し続けます。 [AL out が表示されるまれたら、キーから指を離します。

- ④ 計量皿に何も載せていないことを確認して「PRINT」キーを押してください。
- ⑤ ゼロ点を計量します。振動などを加えないでください。
- ⑥ 分銅値(kg)が表示されます。
- ⑦ 計量皿に分銅を載せ PRINT キーを押してください。分銅を計量します。
- ⑧ 感度調整値を計量します。 振動などを加えないでください。
- ⑨ 計量皿から分銅を取り除いてください。
- ⑩ 感度調整後、GLP 出力を設定している場合、「感度調整記録」を出力またはデータメモリに記憶します。
- ⑪ 自動的に計量表示に戻ります。
- ② 分銅を再度載せて、設定値±2 d ^{*1} であることを確認します。 入らない場合は、周囲環境に注意して、① からもう一度やり直してください。
- *1 「d」は最小表示の単位です。 例えば最小表示が 0.1 g の場合、1 d は 0.1 g となります。



注意

GX-L-K シリーズは検定付き電子天びんのため、お手持ちの分銅による感度調整はできません。

5. エラー表示 (エラーコード)

エラー表示	エラーコード	内容と対処例
E		荷重超過エラー 計量値がひょう量を越えました。 皿の上のものを取り除いてください。
-E		荷重不足エラー 計量値が軽すぎます。皿が正しく載っていません。 皿を正しく載せてください。感度調整を行ってください。
LoWVoLt		電源電圧異常 AC アダプタから供給されている電圧が異常です。 天びんに付属している AC アダプタであるか確認してください。
Error O		天びん内部エラー 継続して表示される場合は、修理を依頼してください。
Error	EC, E11	計量値不安定 計量値が不安定のため、「ゼロ表示にする」や「感度調整」などが実行できません。 皿周りを点検してください。別冊の取扱説明書の「計量中の注意 (より精密な計量を行うために)」を参照してください。 設置場所の環境(振動、風、静電気など)を改善してください。 [CAL]キーを押すと計量表示に戻ります。
Error 2		入力値エラー 入力した値が、設定範囲を越えています。 設定範囲内で入力してください。
Error 6	EC, E16	内蔵分銅エラー (GX-L/GX-L-K シリーズのみ) 内蔵分銅を昇降して、規定以上の重量変化がありませんでした。 皿の上に何も載っていないことを確認し、再度操作してください。 このエラーが継続して表示される場合は、修理が必要です。
Error 7	EC, E17	内蔵分銅エラー (GX-L/GX-L-K シリーズのみ) 内蔵分銅の加除機構が異常です。 再度操作してください。 このエラーが継続して表示される場合は、修理が必要です。
CAL E	EC, E20	CAL 分銅不良(正) 分銅が重すぎます。 皿周りを確認してください。分銅の質量を確認してください。 CAL キーを押すと計量表示に戻ります。
-EAL E	EC, E21	CAL 分銅不良(負) 分銅が軽すぎます。 皿周りを確認してください。 分銅の質量を確認してください。 CAL キーを押すと計量表示に戻ります。
FILE		水平の確認 天びん本体の水平器を確認してください。 足コマを回して気泡が円の中央に位置するようにしてください。 水平器の調整、または ON:OFF を除くキーを押すと警告は解除され ます。
Lo		サンプル質量エラー 個数、パーセント計量のサンプル登録中、サンプル質量が軽すぎる ことを示しています。そのサンプルは使用できません。

エラー表示	エラーコード	内容と対処例
25 - PCS 50 - PCS		サンプル不足 個数計モードでサンプル質量が軽すぎるため、そのまま登録すると 計数誤差が大きくなる可能性があります。 サンプルを追加せずに PRINT キーを押せば計数表示になります が、正確な計数のため、表示されている数になるようにサンプルを 追加してから、PRINT キーを押してください。
100 - PCS		
		ECL 繰返し性エラー自己点検機能にて電子制御荷重(ECL)による繰返し性の標準偏差 SD が 50 d *1 を超えました。天びんの設置環境を見直してください。
50 Error		□ S』Error ECL による繰返し性表示時に表示されます。
MW Error		□ MW Error ECL による最小計量値(参考値)表示時に表示されます。 別冊の取扱説明書の「自己点検機能 / ECL による最小計量値(参考値)の自動設定」参照。
▼		*1 「d」は最小表示の単位です。 フルメモリ 記憶した計量値の数が上限に達しました。新たに計量値を記憶する には、データを削除する必要があります。 別冊の取扱説明書の「データメモリ機能」参照。
FUL / 1		フルメモリ 記憶した感度調整 / キャリブレーションテストの履歴が 50 個に 達しました。 これ以上記憶する場合、古い履歴が削除されていきます。 別冊の取扱説明書の「データメモリ機能」参照。
rtc PF		時計のバッテリエラー 時計のバックアップ電池がなくなりました。いずれかのキーを押した後、日付・時刻の調整を行ってください。時計のバックアップ電池がなくなっていても、天びんが通電されていれば正常に動作します。頻繁にエラーが発生する場合は、修理を依頼してください。
Error 3		天びん内部メモリ素子の故障 このエラーが継続して表示される場合は、修理が必要です。
Error 5		重量センサエラー このエラーが継続して表示される場合は、修理が必要です。
-Error 5		重量センサエラー 皿を正しく載せてください。 このエラーが継続して表示される場合 は、修理が必要です。

エラー表示 エラーコード	内容と対処例
Error B	天びん内部メモリデータの異常 このエラーが継続して表示される場合は、修理が必要です。
Error 9	天びん内部メモリデータの異常 このエラーが継続して表示される場合は、修理が必要です。
EC, E00	コミュニケーションエラー 通信上のエラーを検出しました。 フォーマットやボーレート等を確認してください。
EC, E01	未定義コマンドエラー 定義されていないコマンドを検出しました。 送信したコマンドを確認してください。
EC, E02	実行不能状態受信したコマンドは実行できません。例)計量表示でないのに Q コマンドを受けた場合例)リゼロ実行中に Q コマンドを受けた場合送信するコマンドのタイミングを確認してください。
EC, E03	タイムオーバ °Ł-ʿUP I ^{5EI} に設定したとき、コマンドの文字を受信中に
	約1秒間以上の待ち時間が発生しました。 通信を確認してください。
EC, E04	キャラクタオーバ 受信したコマンドの字数が許容値を越えました。 送信するコマンドを確認してください。
EC, E06	フォーマットエラー 受信したコマンドの記述が正しくありません。 例)数値の桁数が正しくない場合 例)数値の中にアルファベットが記述された場合 送信したコマンドを確認してください。
EC, E07	設定値エラー 受信したコマンドの数値が許容値を越えました。 コマンドの数値の設定範囲を確認してください。
その他のエラー表示	これ以外のエラー表示のとき、または上記のエラーが解消できないときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

6. その他の表示



自動感度調整予告マーク (◀ マーク点滅) です。使用中でない場合、 点滅を始めてしばらくすると内蔵分銅による感度調整を開始します。

(点滅時間は使用環境により異なります)

アドバイス

マークが点滅していても継続して使用できますが、計量精度維持のため、なるべく感度調整後に使用してください。

7. 仕様

7-1. GX-L / GF-L シリーズ

GX-L シリーズ (分銅内蔵タイプ)	GX-12001L	GX-22001L	GX-32001L GX-32001LS	GX-32001LD GX-32001LDS	GX-42001L
GF-L シリーズ (ベーシックタイプ)	GF-12001L	GF-22001L	GF-32001L		
ひょう量	12 kg	22 kg	32 kg	32 kg	42 kg
最大表示	12.0084 kg	22.0084 kg	32.0084 kg	32.008 kg 6.2009 kg ^{*1}	42.0080 kg
最小表示	0.1 g			1 g / 0.1g	0.5 g
繰返し性(標準偏差)	0.1 g			0.5 g / 0.1 g	0.5 g
直線性	±0.2 g			±1 g / ±0.2 g	±1 g
内蔵分銅による 感度調整後の精度 *2	±1.0 g			±1.5 g	
防塵・防滴規格			IP65 準拠		

GX-L シリーズ (分銅内蔵タイプ)	GX-62001L GX-62001LS	GX-62000L GX-62000LS	GX-102000L GX-102000LS	
GF-L シリーズ (ベーシックタイプ)		GF-62000L		
ひょう量	62 kg	62 kg	102 kg	
最大表示	62.0084 kg	62.084 kg	102.084 kg	
最小表示	0.1 g	1 g	1 g	
繰返し性(標準偏差)	0.2 g	0.7 g	1 g	
直線性	±0.5 g	±1 g	±2 g	
内蔵分銅による	±2 a	45 a	+10 a	
感度調整後の精度 *2	±3 g	±5 g	±10 g	
防塵・防滴規格	IP65 準拠			

^{*1} 重い風袋を載せても精密レンジでの計量が可能です。(スマートレンジ機能)

^{*2} 使用環境は急激な温湿度変化、振動、風、磁気、静電気等の影響がない状態。(GX-L シリーズのみ)

7-2. GX-L-K シリーズ

型式承認番号	第 D239 号	
動作温度・湿度	10℃ ~ 30℃, 85%RH以下 (結露しないこと)	
使用地域	日本国内(自己補正付き)	
表示書換回数	約5回/秒、約10回/秒、または約20回/秒	
通信機能	RS-232C、USB	
電源(ACアダプタ)	入力: AC100 ~ 240 V (+10%, -15%)	
	消費電力: 約 30 VA (AC アダプタを含む)	
防塵・防滴規格	IP65 準拠	

GX-L-K シリーズ (分銅内蔵タイプ)	GX-12001L-K	GX-22001L-K	GX-32001L-K GX-32001LS-K	GX-32001LD-K
精度等級		2	級	
ひょう量	12 kg	22 kg	32 kg	32 kg
目量	1 g	1 g	1 g	1 g
補助表示	0.1 g	0.1 g	0.1 g	0.1 g (6.2 kg) *3
使用範囲	5 g ~ 12 kg	5 g ~ 22 kg	5 g ~ 32 kg	5 g ~ 32 kg

GX-L-K シリーズ (分銅内蔵タイプ)	GX-62000L-K GX-62000LS-K	GX-102000L-K GX-102000LS-K	
精度等級	2;	級	
ひょう量	62 kg	102 kg	
目量	10 g	10 g	
補助表示	1 g	1 g	
使用範囲	50 g ~ 62 kg 50 g ~ 102 kg		

^{*3 (}内)は、TARE キーまたは ZERO キーを押した後で補助表示が表示される範囲です。

アドバイス

定期検査

「取引」や「証明」に使用する天びんは、2年毎に計量法に基づく定期検査を受ける必要があります。定期 検査については、各都道府県計量検定所までお問い合わせください。

※ 検定付きの天びんでは、法規制によりお手持ちの分銅による感度調整は行えません。

MEMO

_	

[白紙]

使い方・修理に関するお問い合わせ窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。 修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

お客様相談センター ® 0120-514-019

通話料無料

受付時間:9:00~12:00、13:00~17:00、月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

修理をご依頼される方へ

詳しくはこちらをご確認ください。 https://link.aandd.jp/Support_Repair_Jp

2023 年 04 月 01 日現在のリンク先 URL:

https://www.aandd.co.jp/support/repair_info/pickup.html

